

川辺川ダム建設に関する 「環境アセスメント」実施の請願書

衆議院議長 様

請願の主旨

熊本県・球磨川上流の「川辺川」は、1998年度環境庁水質調査で日本一きれいな川として発表されました。川辺川が注ぐ球磨川は、球磨川下りや美味しい鮎で全国的にも有名で、観光客や釣り人、カヌーイストたちが集う川です。球磨川・川辺川は、これらの産業規模を考えると、人吉・球磨地方の経済の基幹と言っても過言ではありません。流域の漁業や観光に携わる方たちにとってはもちろんのこと、すべての川を愛する市民にとって、きれいな球磨川・川辺川は末代まで残すべき財産です。

流域住民だけでなく、全国の球磨川・川辺川を愛する人たちは、川辺川ダムの影響について詳しく知りたいと思っています。流域市町村も「現在の水質を保全すること」をダム建設推進の条件にしております。熊本県知事も、環境調査には前向きな発言をされています。ダムサイト近辺には絶滅危惧種に指定されている「クマタカ」をはじめ豊かな自然という財産があるにもかかわらず、環境アセスは未だに実施されていません。

1999年6月、「環境影響評価法」が施行されました。しかし、川辺川ダムは、本体着工前にもかかわらず、計画が古いということで対象から除外されて「環境アセスメント」が実施されずにいます。しかし、環境への配慮が足りなかった昔の計画だからこそ、これからの地元の経済発展のためにも、ぜひとも、川辺川ダム本体着工の前に、市民参加を交えた、今一番進んだ「環境アセスメント」の実施をお願いする次第です。

請願項目

1、川辺川ダム本体着工の前に、「環境アセスメント」の実施。

署名欄

お手数ですが、住所は都道府県からご記入願います。ボールペン類をお使い下さい。参議院、衆議院双方に提出するので、左右2枚に同じ署名をお願いします。年齢制限はありません。

氏名	住所
	都道府県

「川辺川ダム環境アセス請願実行委員会」
事務局： 渡辺 誠 〒150-0031 東京都渋谷区桜丘町22-17-201
電話03-5459-2351 ファクス03-3463-0288

川辺川ダム建設に関する 「環境アセスメント」実施の請願書

参議院議長 様

請願の主旨

熊本県・球磨川上流の「川辺川」は、1998年度環境庁水質調査で日本一きれいな川として発表されました。川辺川が注ぐ球磨川は、球磨川下りや美味しい鮎で全国的にも有名で、観光客や釣り人、カヌーイストたちが集う川です。球磨川・川辺川は、これらの産業規模を考えると、人吉・球磨地方の経済の基幹と言っても過言ではありません。流域の漁業や観光に携わる方たちにとってはもちろんのこと、すべての川を愛する市民にとって、きれいな球磨川・川辺川は末代まで残すべき財産です。

流域住民だけでなく、全国の球磨川・川辺川を愛する人たちは、川辺川ダムの影響について詳しく知りたいと思っています。流域市町村も「現在の水質を保全すること」をダム建設推進の条件にしております。熊本県知事も、環境調査には前向きな発言をされています。ダムサイト近辺には絶滅危惧種に指定されている「クマタカ」をはじめ豊かな自然という財産があるにもかかわらず、環境アセスは未だに実施されていません。

1999年6月、「環境影響評価法」が施行されました。しかし、川辺川ダムは、本体着工前にもかかわらず、計画が古いということで対象から除外されて「環境アセスメント」が実施されずにいます。しかし、環境への配慮が足りなかった昔の計画だからこそ、これからの地元の経済発展のためにも、ぜひとも、川辺川ダム本体着工の前に、市民参加を交えた、今一番進んだ「環境アセスメント」の実施をお願いする次第です。

請願項目

1、川辺川ダム本体着工の前に、「環境アセスメント」の実施。

署名欄

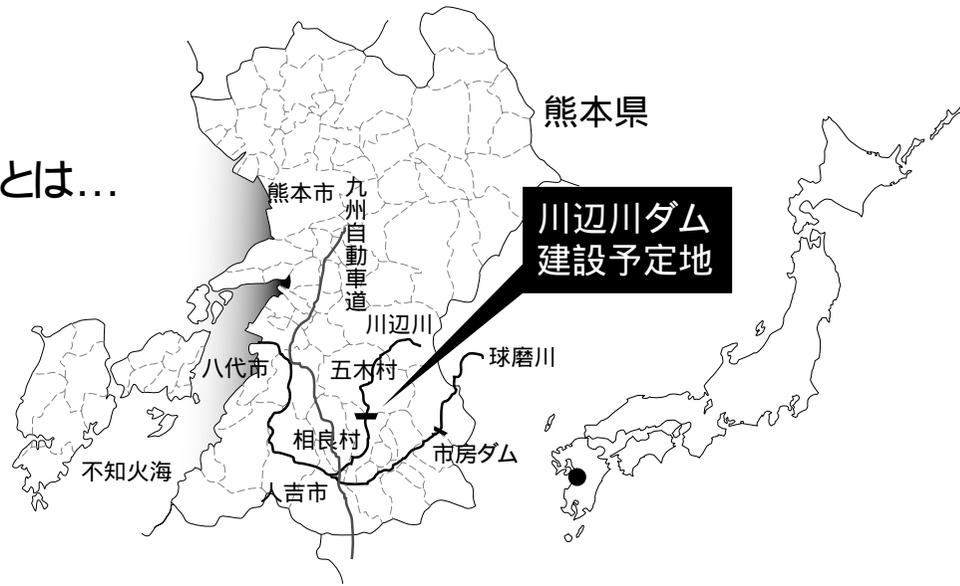
お手数ですが、住所は都道府県からご記入願います。ボールペン類をお使い下さい。参議院、衆議院双方に提出するので、左右2枚に同じ署名をお願いします。年齢制限はありません。

氏名	住所
	都道府県

「川辺川ダム環境アセス請願実行委員会」
事務局： 渡辺 誠 〒150-0031 東京都渋谷区桜丘町22-17-201
電話03-5459-2351 ファクス03-3463-0288

川辺川ダムに「環境アセスメント」実施を求める請願署名のお願い

川辺川ダムとは...



九州・熊本、八代市に注ぐ日本三大急流の一つ球磨川の上流に計画された、高さが100m以上もある九州一の巨大ダムです。30年以上も前に作られた計画はその建設目的を変え、現在は洪水調節とかんがい用水確保を視野に入れた、多目的ダムとして計画が続行中です。現在まで、約1,000億円以上が費やされ、98年春の計画変更時点では、総予算が2,650億円となりました。ダムができることにより、子守唄で全国的に有名な五木村の中心部が、ほぼ水の底に沈むこととなります。村では、計画当初から反対運動が展開されましたが、今では「苦渋の選択」といわれたダム受け入れを議決し、ダムによる村おこしを計画中です。流域の相良村、人吉市な

どの議会も川辺川の水質保全を条件に、ダム容認を表明していますが、流域住民の中にはダムを疑問視する声が続きます。現在では、ダム付帯工事もほぼ終わり、すぐにも本体着工にかかりたいというのが、建設省の意向です。ただし建設省は、球磨川・川辺川の水質・流量保全に疑問を提示している球磨川漁協に対して、的確な対応ができていません。さらに建設目的の一つでもある利水(かんがい)事業に対して、半分以上の受益農家から裁判を起こされています。農家としては、農業事情の変化等でもうこれ以上水はいらないし、利水事業に対する同意(ハンコ)の取り方に問題があるというのが理由です。



建設省が作った川辺川ダム完成予想図

「環境アセスメント」とは...

ダムなどの大規模事業が行われるときに、環境に与える影響を配慮し、環境保全をはかるための手続きのことです。よりよい事業にしていくために、環境影響の予測や評価を行い、国民、地方公共団体などから広く意見を聞きます。また、これら事業の目的を達成するために複数案の比較検討を含めた「環境アセスメント」を行うという事を義務づけた新しい法律(環境影響評価法)が、1999年6月12日より施行されました。

川辺川ダムは30年以上も前に計画されました...

川辺川ダムは、環境への影響調査がされていません。「環境影響評価法」施行以前からの計画ということで、この法律の対象から除外されています。このままでは環境影響調査がされぬままダム事業が進みかねません。環境への配慮が足りなかった昔の計画だからこそ、アセスメントをする意義は大きいといえます。現在、仮排水路の工事などが進みましたが、まだ本体着工はしていません。過去のダム建設後の経験から、川辺川ダムが源流から河口までの環境に与える影響が、大変心配されています。

水質日本一の川辺川は、流域住民のみならず国民の財産です...

川辺川下流は、1998年度の環境庁水質調査で日本一の川となりました。きれいな川を子孫に残していくことは、私たちにとって大きな課題です。ダムは水の質、量ともに川に大きな変化をもたらすと思われます。建設省が水質保全ができる提案している、選択取水装置(*1)や清水バイパス(*2)の検証とともに、水質変化についてのアセスメントは重要です。

(*1)ダム湖に貯えられた水のうち、水温や濁りの問題のない水だけを下流に流す装置。

(*2)洪水時の濁り水はダム湖に貯え、濁りが沈むまではダム湖から下流に流さない。そのかわり、ダム湖の上流から水路を設置して、洪水時の濁りがなくなった水を直接ダム下流に流す方式。

以上建設省の説明から。

球磨川漁協は水質保全に懸念を抱いています...

球磨川鮎は、球磨川漁協が球磨川下流の堰・ダムで遡上できない天然稚魚を捕獲し、それを上流に放流するという全国でも珍しいシステムにより、最高の鮎と評価されています。全国から釣り人を集め、球磨川下りでも有名な球磨川は、人吉・球磨地方にとって鮎漁・観光と経済の基盤をなしています。ダムによって引き起こされるとされる下流の濁りや、水温の変化、水量の減少などは、アユ生息に大きなダメージを与えます。球磨川の变

化は球磨川漁協にとって死活問題であり、人吉・球磨経済にも大きな打撃を与えます。いま、その球磨川の水量、水質を支えているのは、紛れもなく川辺川なのです。

豊かな自然という財産を守るために...

ダムサイト周辺には、絶滅危惧種のクマタカの生息地があり、ダム建設がその生息環境に与える影響が心配されます。また、湛水予定地(水に沈んでしまうであろう場所)にある、熊本県第二の大きさを誇る九折瀬(つづらせ)洞窟の生物は、そこ特有の生物種で構成され学術的にもとても貴重です。にもかかわらず、その保護のための決定的な対策は考えられていません。ダムが、予定地周辺の自然や生態系に与える影響の調査や対策は、全く不十分です。

以上の理由により、川辺川ダムに「環境アセスメント」実施を求める請願署名をよろしくお願ひいたします。なお、いただいた署名は、実行委員会までまとめられ、国会議員を通じて請願というかたちで国会内に届けられる予定です。



「川辺川ダム環境アセス請願実行委員会」事務局：〒150-0031 東京都渋谷区桜丘町22-17-201
電話03-5459-2351 ファクス03-3463-0288
担当：渡辺 誠
署名用紙は各集約先へお送りください。

- 各地集約先
- 【人吉】川辺敬子
〒868-0025 熊本県人吉市瓦屋町1655-3
 - 【八代】間垣富之
〒866-0883 熊本県八代市松江町366-9
 - 【熊本】西田陽子
〒862-0926 熊本県熊本市保田窪2-3-57
tel&fax: 096-349-8090
 - 【福岡】松原 学
〒812-0061 福岡県福岡市東区筥松4-4-3-209
tel&fax: 092-623-1765
 - 【大阪】加藤広行
〒597-0033 大阪府貝塚市半田303-7
 - 【東京】渡辺 誠
〒150-0031 東京都渋谷区桜丘町22-17-201